

# あきたDXフォーラム2024 参加者アンケート結果

本フォーラムの参加者からのフィードバックを分析し、その結果をご報告します。  
全体的に高評価を得ており、特に講演への満足度が高いことがわかりました。

2024年12月

一般社団法人 秋田デジタル利活用推進協会



# 各セッションの満足度分析

4.48

## 藤村厚夫氏の講演

質疑応答の時間も多く設けられ、参加者からの質問にも丁寧に回答された点が好評でした。「具体的な事例を交えた説明が理解しやすかった」との意見が多く見られました。

4.08

## パネルディスカッション

活発な意見交換が行われ、参加者からも積極的に質問が出されました。「様々な視点からの意見を聞いて有益だった」との評価が多く、今後のセミナー開催の参考になりました。

4.55

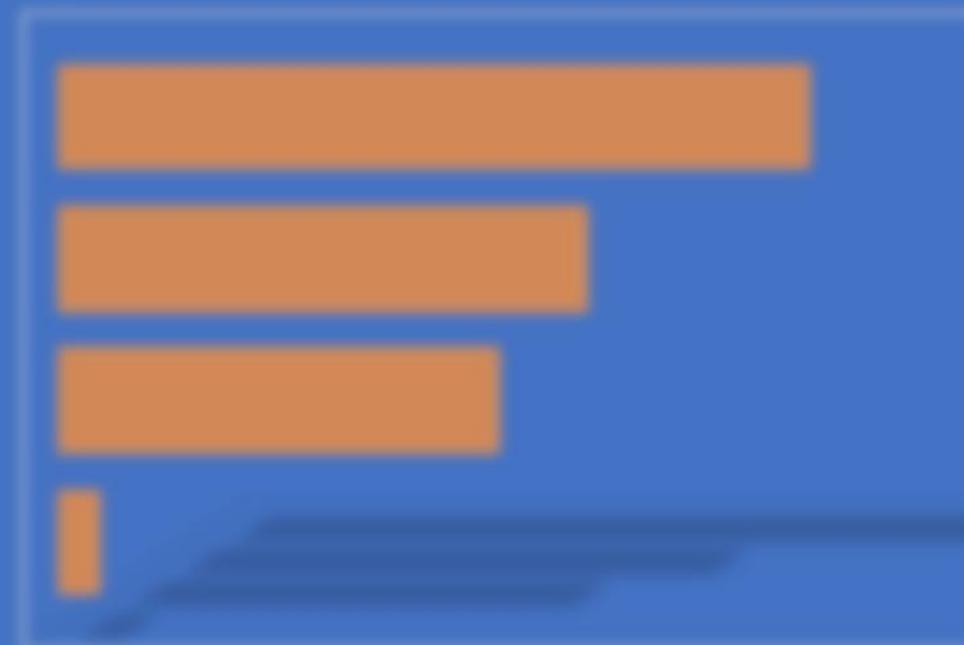
## 景山陽一氏の講演

参加者から「非常に分かりやすく、実務に役立つ内容だった」との声が多数寄せられました。特に、最新の事例紹介が高く評価されました。

3.83

## 参加企業PRセッション

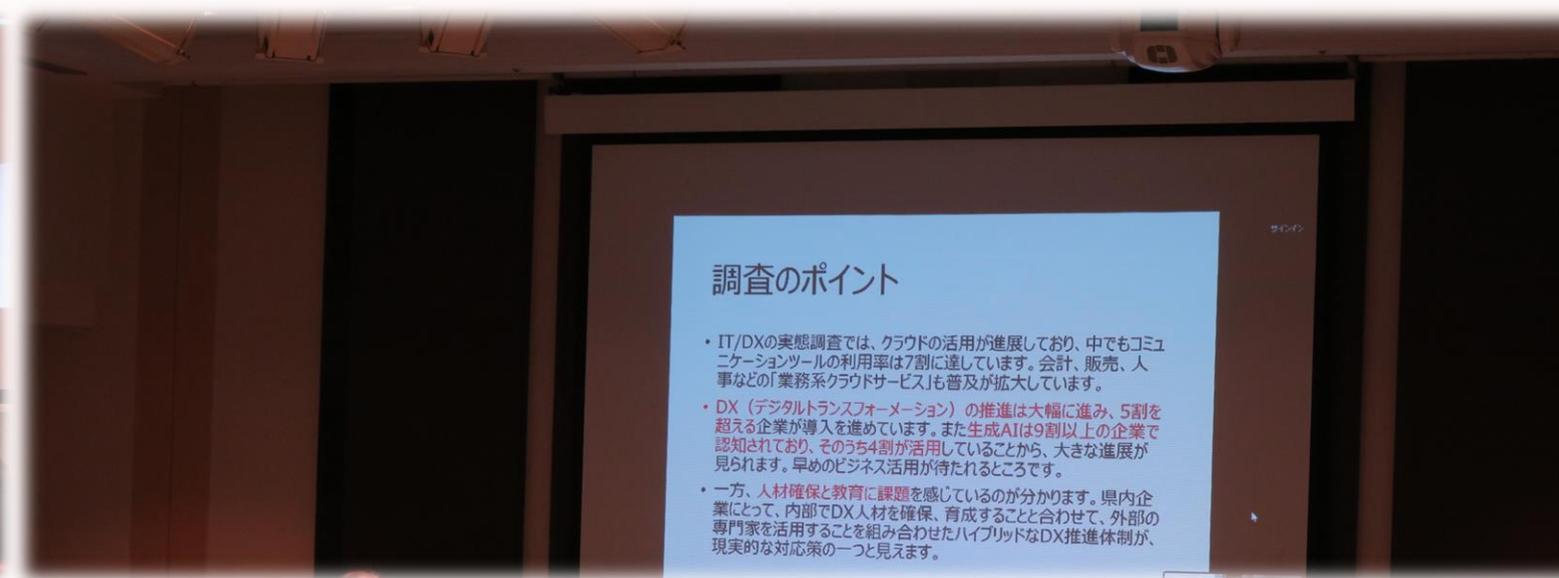
一部、説明が冗長であったとの指摘がありました。聴講者への配慮と時間配分について、次回改善が必要と考えられます。





## 満足度詳細分析

セッション名	平均スコア	中央値	最頻値	標準偏差
藤村厚夫氏の講演	4.48	5.0	5	0.73
景山陽一氏の講演	4.55	5.0	5	0.66
パネルディスカッション	4.08	4.0	5	0.85
参加企業PRセッション	3.83	4.0	4	0.95



# 人気講演：地方活性化とDX



## 藤村厚夫氏講演

「非常に満足した(5)」の評価が多く、地方活性化への関心の高さがうかがえます。



## 景山陽一氏講演

DXに対する関心が高く、参加者から高い評価を得ました。



## パネルディスカッション

平均満足度4.4で、実際の事例紹介や意見交換の場として好評でした。



# 参加者からのポジティブな意見

## ■ 地域への影響

地域を考えたDXの取り組みに感銘を受けたという声が多数ありました。

## ■ 継続的な開催希望

「引き続きこのようなイベントを定期的で開催してほしい」という声が多くありました。

## ■ 内容の充実

地域と技術の融合の事例が参考になったという意見が寄せられました。

# 改善のポイント:参加者からの要望



## 時間配分

パネルディスカッションの時間が短いという指摘がありました。



## 具体例の増加

より詳細な具体例を知りたいという要望が多くありました。



## 参加者ターゲット

自治体職員や地元企業をもっと巻き込むべきとの意見がありました。



人数  
テーマ  
サステナビリティ  
業務省力化  
事例紹介  
生成AI  
DX推進  
セミナー  
実務  
当事者  
AI関連  
中小企業  
啓蒙  
企業活動  
導入  
デジタル活用  
具体例  
会社  
カーボンニュートラル

## 今後のセミナーテーマ希望

### 生成AI

最新のAI技術に関する関心が高いです。

### メタバース

ビジネスへの影響についての興味が示されています。

### 自治体のDX

現状と課題についての情報が求められています。

### 地域課題解決

デジタル技術による解決策に注目が集まっています。

# 満足度と自由回答の関連性

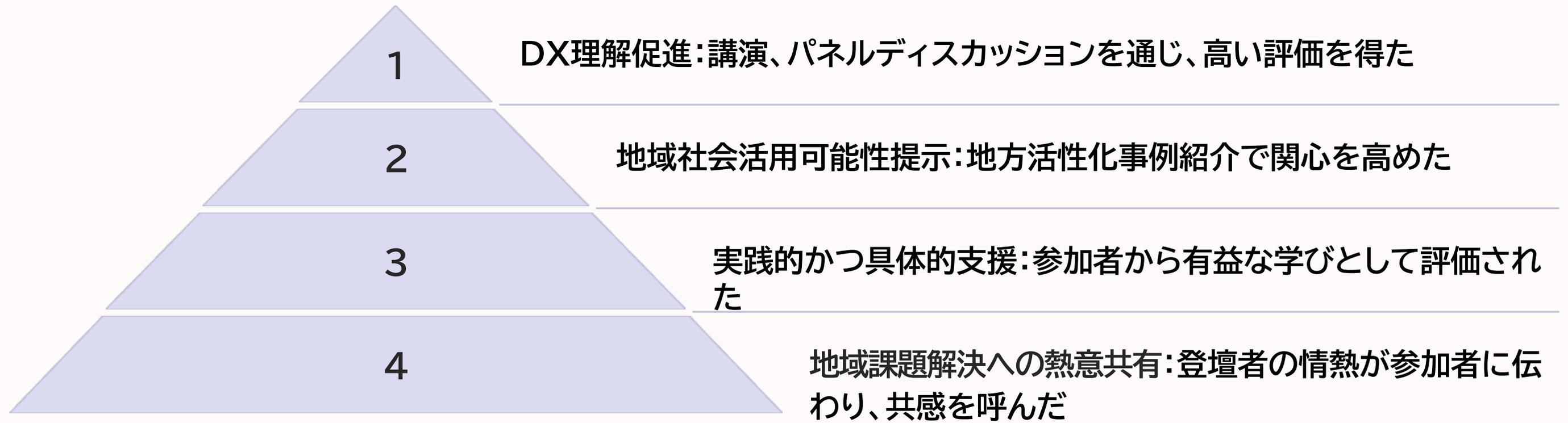
## 高評価の要因

景山陽一氏の講演とパネルディスカッションの高評価は、地域に配慮したDwXの取り組み事例の豊富さと、参加者にとって有益な情報提供に起因すると考えられます。特に、地域独自の具体的なアプローチや成功事例の紹介が好評でした。

## 改善が必要な点

参加企業PRセッションの低評価は、発表内容の単調さや、具体的な説明・視覚的要素の不足が原因と考えられます。より詳細な具体例や、分かりやすい図表などを用いた説明が求められています。また、パネルディスカッションの時間の短さについても、多くの参加者から改善要望が寄せられています。自治体職員や地元企業の参加促進についても、今後の課題として挙げられます。

# イベントの目的達成度



イベントは、DXへの理解促進、地域社会での活用可能性の提示、具体的かつ実践的な内容提供、地域課題解決への熱意共有という4つの目的を十分に達成し、高い参加者満足度と継続開催希望の声につながりました。

# 次回イベントへの改善策

1

## 事例紹介の充実

実際のDX成功事例の共有を増やします。

2

## PRセッションの改善

参加企業のPRセッションをより魅力的な内容にします。

3

## 参加者の声の反映

フィードバックを活用し、プログラムを更にブラッシュアップします。





## 総括と今後の展望

本イベントは参加者から非常に高い評価を得ました。改善点を活かし、DXに関する知識共有の場として最新のトレンドを取り入れることで、より充実したセミナーを目指します。